

協働による政策づくり研修 参加者募集！！

◆日時◆

平成 30 年 12 月 6 日（木）～ 12 月 7 日（金）



NPO職員の方！地域課題の解決策を自治体職員と一緒に考えませんか？

ワークショップを通して、NPO、県、市町職員等、多様なメンバーがアイデアを出し合い、刺激をし合いながら、協働による政策づくりを体感できます。

NPO職員の皆さんの多数の参加をお待ちしております！



- ◆参加費用は一切不要です。（宿泊費も不要）
- ◆会場までの往復にかかる交通費は、実費支給します。
- ※ただし、食事代については、実費をご負担いただきます。



こんな方におすすめ！

- ◇ 協働による課題解決力の向上を図りたい！
- ◇ 自 NPO の活動内容を広めたい！
- ◇ 行政・他 NPO とのネットワークを作りたい！
- ◇ ファシリテーション能力の向上を図りたい！



昨年度の受講者の声

- ◇ 普段話す機会のないメンバーと、1つのものをつくり出すプロセスが発見の連続だった。
- ◇ NPOと行政が互いのことを知るきっかけとなり、新しい視点を持つことができた。
- ◇ 研修以外の合宿中も含め、多彩なメンバーと交流でき、刺激が多かった。

会場

JR神戸線・山陽電鉄 塩屋駅
から徒歩約 10 分

兵庫県自治研修所

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町 5 丁目 3 番 1 号 (TEL)078-752-1321

日程

	9:00	9:30	11:00	11:15	12:15	13:15	17:45
1 日目	開講 OR	協働の意義と 各主体の役割(1.5h)	協働による政策形成の 事例研究(5.5h)		昼食 (1h)	同左	合 宿
2 日目		協働ワークショップによる政策形成演習(7.5h)			昼食 (1h)	同左	閉 講
	9:00			12:00	13:00		17:30 17:45

カリキュラム

協働による政策形成の事例研究

先進事例から、課題解決のための、協働による政策づくりのプロセスや、実施にあたってのポイントを理解し、必要とされる手法を学ぶ。

【内容】

- ・ 民間企業等、多様な主体との協働先進事例の紹介
- ・ 多様な担い手による協働の場づくり
- ・ 協働による政策形成のプロセスとポイント

(特非)プラス・アーツ理事長 永田 宏和

企画・プロデューサー。株式会社 iop 都市文化創造研究所代表、NPO 法人プラス・アーツ理事長、デザイン・クリエイティブセンター神戸【KIITO】副センター長。現在、「+クリエイティブ」をコンセプトに、防災や福祉、まちづくりといった様々な分野の社会課題解決に取り組む。企画・プロデュースの仕事に、都市キャンペーン型アートイベント「水都大阪 2009・水辺の文化座」、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」(2005 年～)、子どもがつくる子どものための夢のまち「ちびっこうべ」(2012 年、2014 年、2016 年、2018 年)、などがある。TBS「情熱大陸」、日本テレビ「世界一受けたい授業」出演。

(裏面につづく)

協働の意義と各主体の役割

行政、住民、NPO、大学等の各主体による協働や連携の意義を学ぶとともに、それぞれに求められる役割を認識する。

【内容】

- ・社会環境の変化
- ・協働・連携の意義
- ・各主体に求められる役割

兵庫県立大学教授 内平 隆之

兵庫県立大学環境人間学部 エコ・ヒューマン地域連携センター センター長代理、同大学准教授を経て、平成28年10月、同大学地域創造機構教授に就任。神戸大学工学部在学中に阪神・淡路大震災を経験して以来、大学から地域に飛び出して、大学と地域が連携して取り組むさまざまな研究・教育・社会貢献の現場で奮闘。その経験やノウハウをいかし、大学と地域をつなぐ仕組みづくりを実践的に研究中。地域の資源を活用した地域連携プロジェクトを手がけている。

協働ワークショップによる政策形成演習

ワークショップを通じて、協働による政策手法を習得し、課題解決力の向上を図る。

(株)博報堂ディレクター 船木 成記

東京都出身。現在、尼崎市顧問、長野県参与（信州総合ブランディング担当）、高知大学客員教授。2007年9月より2年間、内閣府男女共同参画局政策企画調査官も務める。専門はソーシャルマーケティング。

1989年(株)博報堂入社後、企業のマーケティング実務に携わり、その後、2005年愛・地球博や環境省チームマイナス6%、内閣府カエル！ジャパン(WLBの推進)などの社会的事業を手掛ける。地域づくり、観光&環境のコミュニケーション事業、地域ブランディング、ソーシャルビジネスやNPO等の事業構築や基盤整備支援、長期実践型インターンシップの推進、及び公衆衛生分野が守備範囲。これまでの主な地域プロジェクトは、杉並ウエストサイズ物語、ローカルベンチャーラボ、ローカル鉄道・地域づくり大学、みんなのサマーセミナー、みんなの尼崎大学等。

(特非)edge 理事

(公社)チャンス・フォー・チルドレン 理事

(特非)ブレンヒューマンティーマン 顧問

能島 裕介

神戸市生まれ。関西学院大学在学中に阪神・淡路大震災で被災した子ども達の支援活動に従事。大学卒業後、株式会社住友銀行に入行。

同行を退職後、学生時代に行っていた活動をNPO法人化し、NPO法人ブレンヒューマンティーマン理事長に就任。2017年12月に理事長を退任し、顧問に就任。950名以上の大学生ボランティアを主体としながら青少年を対象にした野外活動、国際交流活動、不登校支援活動、子どもの貧困支援活動などを展開。

現在、兵庫県立大学客員教授、尼崎市企画財政局参与、尼崎市教育委員会事務局参与、尼崎市学びと育ち研究所副所長、NPO法人edge理事、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン理事なども務める。

参加申込書

【申込期限：11月22日（木）】

- ◆必要事項をご記入の上、お手数ですがFAXにてお申し込みをお願いします。
- ◆お申し込み後のご連絡は、電子メールにてお送りしますので、アドレスをご記入ください。

氏名	フリガナ	性別	年齢	備考

NPO 法人名	
代表者名	
電話番号	
FAX番号	
E-mail	



【FAX送信先】兵庫県自治研修所 (FAX) 078-753-2441